

第3回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No.	項目	意見の概要	市の考え方	備考
1	デザインコンセプト案について	デザインコンセプト案は、交通結節機能が強調されず、くつろぎ・にぎわいなどが表現され、和らいだイメージが良い。		
		「くつろぎ・にぎわい空間」をどのように作るのか。	サンクンガーデンを中心として写真（恵比寿ガーデンプレイスなど）のような雰囲気を出せば良いと思っている。	
		デザインコンセプト案の「現代和風」の考えが良い。		
		駅広整備では、交通結節機能が重要であることを認識していただきたい。		
		エントランスゾーンで「和」が非常に強調された表現になっていることが気になるが、全体の調和を考慮して新駅ビルの検討を進めたい。		
		デザインコンセプトを早く決めて、それを具現化した絵の議論を始めるべきである。	次回からレイアウトの議論をしたい。	
		デザインコンセプト案から想像するとすばらしいものが出来ると感じるが、個々のイメージはそれぞれ違うので、イメージ通りのレイアウトが出てくるのかが心配である。		
		駅前が素晴らしくなっても、周辺の既存商店街との格差が生じるため、歩行者動線などの連携を十分に配慮すべきである。		
		「安全・便利」という言葉をとっても、市民それぞれによって捉え方が違う。御幸通りを南へ進むと駅ビルがあるが、そこをメインの改札とした方が便利と考える人もいる。	御幸通りの延長上の駅ビル内の空間は、通路として確保できるよう、JRと協議している。	
		KJ法により、フォーラムのアンケート結果を市民意見の概要として集約したとのことだが、KJ法に関わったメンバーは誰か？	事務局が文章を各要素に分割・分類した。	
市民を含むフォーラムの参加者がKJ法に関わっていれば、様々な問題提起があり、より良いものができたと思う。				
デザインコンセプト案は、交通結節機能だけでなく、景観・城の眺望・賑わいなどを大幅に取り入れている点が評価できる。				

No.	項目	意見の概要	市の考え方	備考
1	デザイン コンセプト 案につ いて	<p>フォーラムでのアンケート結果を市民意見としてまとめているが、優先順位を議論するために、もう一度市民に対するフィードバックが必要ではないか。</p> <p>意見の多いものが優先順位が高いと評価するのではなく、意見の質を考慮すべきである。</p> <p>基本コンセプトの「時と人が交流するおもてなし広場」について、「時が交差し、人が交流する」とすべき。</p> <p>「おもてなし広場」の「おもてなし」と「広場」の両方が漠然とした意味なので、「おもてなし空間」とするのが良い。</p> <p>イメージなので「広場」でも「空間」でもどちらでも良いが、「広場」の方がやわらかい感じがする。</p> <p>駅前の空間を、「時間」、「人」、「空間」の3つの軸が交差するエネルギーをもつ場所と認識してもらいたい。</p> <p>「広場」は平面的な二次元をイメージさせ、一方、「空間」は三次元をイメージさせるので、「空間」の方が全体的なまちのイメージを捉えやすい。3次元の「空間」に「時」の軸を加えると4次元もイメージできるので、4次元につながる「空間」とするのも良い。</p> <p>コンセプトとして「時が交差し、人が交流する」では長いので、もっとお洒落な表現にして欲しい。</p>	<p>機会があれば、市民に対するフィードバックを検討したい。</p> <p>表現については検討したい。</p>	